

平成31年3月29日
四国電力株式会社

2019年度供給計画（一般送配電事業者分）に基づく 四国エリアの電力需給見通し等について

当社は、本年3月25日、電力広域的運営推進機関（以下、広域機関）に対し、2019年度供給計画（一般送配電事業者分）を提出いたしました。

本日、広域機関が、全国のエリア需給バランスを評価・公表したことに合わせて、以下のとおり、四国エリアの電力需給見通し等について、お知らせいたします。

1. 四国エリアの電力需要見通し

	2017年度 (実績)	2018年度 〔実績見込〕	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	18~28年平均 伸び率
需要電力量 〔使用端：億 kWh〕	262 <267>	258 <262>	258	257	256	256	255	252	▲0.3 <▲0.4>
最大電力 〔送電端：万 kW〕	508 <517>	504 <524>	503	502	501	499	498	492	▲0.2 <▲0.6>

〔注1〕 < >内は、生値（気温閏補正前の数値）。

〔注2〕 最大電力は、夏季における最大3日の平均電力。

2. 四国エリアの夏季電力需給見通し

	2018年度 (実績)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
最大電力	504	503	502	501	499	498	492
供給力	551	561	579	556	551	566	570
供給予備力	47	58	77	55	52	68	78
供給予備率	9.2	11.5	15.3	11.0	10.4	13.6	15.9

〔送電端、万 kW、%〕

3. 流通設備計画

○主要送電線路の整備計画

整備計画	電圧およびこう長	変更理由	使用開始年月
松山東線 2回線化*	18.7万V 47.8km	高経年化対策・系統対策	2019年11月
西条火力線 増強	18.7万V 6.5km	電源対応	2021年5月

※ 1回線送電線である松山東線および北松山線をルート統合することにより2回線化を行う。

○主要変電所の整備計画

整備計画	電圧および容量	変更理由	使用開始年月
高知変電所 変圧器取替	18.7万V/6.6万V 20万kVA→30万kVA	高経年化対策・需要対策	2022年4月

以上